

【表紙】

【提出書類】 有価証券届出書の訂正届出書

【提出先】 関東財務局長殿

【提出日】 平成30年6月6日提出

【発行者名】 大和証券投資信託委託株式会社

【代表者の役職氏名】 取締役社長 岩本 信之

【本店の所在の場所】 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

【事務連絡者氏名】 高橋 慎
連絡場所 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

【電話番号】 03-5555-3431

【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】 ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型） - ロボテック（年1回） - （為替ヘッジあり）

【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券の金額】 10兆円を上限とします。

【縦覧に供する場所】 該当ありません。

．【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2017年12月6日付で提出した有価証券届出書（以下「原有価証券届出書」）の記載事項を、半期報告書の提出に伴い新たな内容に改めるため、本訂正届出書を提出致します。

．【訂正の内容】

<訂正前>および<訂正後>に記載している下線部__は訂正部分を示し、<更新後>の記載事項は原有価証券届出書の更新後の内容を示します。

第二部 【ファンド情報】

第1 【ファンドの状況】

1 【ファンドの性格】

(1) 【ファンドの目的及び基本的性格】

<更新後>

<略>

<ファンドの特色>

<略>

 株式の運用は、アクサ・インベストメント・マネージャーズが担当します。

アクサ・インベストメント・マネージャーズについて

- ◆ 数多くのテーマ運用で豊富な実績を有するアクサ・インベストメント・マネージャーズは、世界最大級の保険・資産運用グループであるアクサ・グループの資産運用部門です。
- ◆ 1994年に設立され、運用資産総額は7,459億ユーロ(約101兆円)です。(2017年12月末現在)

<略>

(3) 【ファンドの仕組み】

<更新後>

<略>

<委託会社の概況（2018年3月末日現在）>

<略>

2 【投資方針】

(3) 【運用体制】

<更新後>

<略>

上記の運用体制は2018年3月末日現在のものであり、変更となる場合があります。

3 【投資リスク】

< 更新後 >

< 略 >

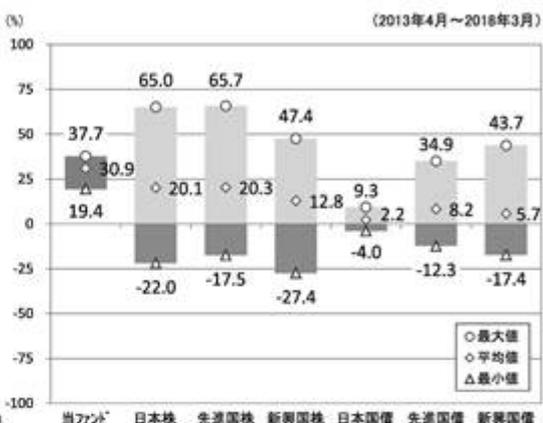
参考情報

◆下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。右のグラフは過去5年間に於ける年間騰落率(各月末における直近1年間の騰落率)の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。また左のグラフはファンドの過去5年間に於ける年間騰落率の推移を表示しています。

ファンドの年間騰落率と分配金再投資基準価額の推移



他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※資産クラスについて

日本株：東証株価指数(TOPIX)(配当込み)
 先進国株：MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)
 新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
 日本国債：NOMURA-BPI国債
 先進国債：FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
 新興国債：JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスー エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド(円ベース)

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、高標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村証券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスー エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

4 【手数料等及び税金】

(5) 【課税上の取扱い】

< 更新後 >

< 略 >

() 上記は、2018年3月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

< 略 >

5 【運用状況】

原有価証券届出書の「第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 5 運用状況」を次の内容に訂正・更新します。

<訂正後>

(1) 【投資状況】（平成30年3月30日現在）

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	4,890,452,239	99.18
内 日本	4,890,452,239	99.18
親投資信託受益証券	3,996	0.00
内 日本	3,996	0.00
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	40,623,672	0.82
純資産総額	4,931,079,907	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 【投資資産】（平成30年3月30日現在）

【投資有価証券の主要銘柄】

イ．主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	数 種類 は	株数、口 また 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1	アクサIM・グローバル・ロボット関連株式 ファンド(為替ヘッジあり)	日本	投資信託 受益証券	3,617,465,966	1.2890 4,663,161,798	1.3519 4,890,452,239	99.18
2	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	日本	親投資信 託受益証 券	3,985	1.0032 3,997	1.0029 3,996	0.00

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
投資信託受益証券	99.18%
親投資信託受益証券	0.00%
合計	99.18%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

	純資産総額 (分配落) (円)	純資産総額 (分配付) (円)	1口当たりの 純資産額 (分配落)(円)	1口当たりの 純資産額 (分配付)(円)
平成29年3月末日	2,021,432,390	-	1.1089	-
4月末日	2,207,591,622	-	1.1244	-
5月末日	2,432,158,883	-	1.1727	-
6月末日	2,430,421,085	-	1.1553	-
7月末日	2,847,046,697	-	1.1953	-
8月末日	3,129,369,394	-	1.2094	-
第1計算期間末 (平成29年9月13日)	3,744,839,954	3,744,839,954	1.2430	1.2430
9月末日	3,750,492,906	-	1.2491	-
10月末日	4,155,766,930	-	1.3266	-
11月末日	4,383,628,647	-	1.3503	-
12月末日	4,618,023,727	-	1.3467	-
平成30年1月末日	5,071,420,418	-	1.4289	-
2月末日	4,965,994,239	-	1.3706	-
3月末日	4,931,079,907	-	1.3241	-

【分配の推移】

	1口当たり分配金(円)
第1計算期間	0.0000
平成29年9月14日～ 平成30年3月13日	-

【収益率の推移】

	収益率(%)
第1計算期間	24.3
平成29年9月14日～ 平成30年3月13日	12.6

(4) 【設定及び解約の実績】

	設定数量(口)	解約数量(口)
第1計算期間	4,129,777,078	1,118,142,677
平成29年9月14日～ 平成30年3月13日	1,766,164,618	1,118,375,595

(注) 当初設定数量は1,000,000口です。

(参考) 投資信託証券

アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)

(1) 投資状況

(平成30年3月末日現在)

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	25,941,156,718	100.41
内 日本	25,941,156,718	100.41
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）	106,239,478	0.41
純資産総額	25,834,917,240	100.00

その他の資産の投資状況

(平成30年3月末日現在)

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
為替予約取引（売建）	19,944,364,800	77.20
内 日本	19,944,364,800	77.20

(2) 投資資産

投資有価証券の主要銘柄

(平成30年3月末日現在)

銘柄名	通貨 地域	種類 業種	数量 (株)	簿価単価 簿価金額 (円)	評価単価 時価金額 (円)	利率 (%) 償還 期限 (年/ 月/ 日)	投資 比率
1 アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド	日本・ 円	親投資信託受益証券	22,757,396,893	1.1553	1.1399	-	100.41%
	日本	-		26,291,623,902	25,941,156,718	-	

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

種類別および業種別投資比率

(平成30年3月末日現在)

種類	国内/外国	業種	投資比率(%)
親投資信託受益証券	国内	親投資信託受益証券	100.41
	小計		100.41
合計(対純資産総額比)			100.41

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

(平成30年3月末日現在)

種類	地域	資産名	買建/ 売建	数量	簿価	時価	投資比率
----	----	-----	-----------	----	----	----	------

為替予約取引	日本	スイス・フラン売/円買2018年04月	売建	3,160,000	352,649,680	351,960,800	1.36%
		ユーロ売/円買2018年04月	売建	27,400,000	3,579,892,200	3,577,344,000	13.85%
		アメリカ・ドル売/円買2018年04月	売建	151,000,000	15,916,155,000	16,015,060,000	61.99%

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

（注2）為替予約取引の時価については、原則として対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。
為替予約取引の数量については、現地通貨建契約金額です。

参考情報 アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド
投資状況

（平成30年3月末日現在）

資産の種類		時価合計(円)	投資比率(%)
株式		405,237,776,518	96.28
	内 アメリカ	213,042,683,030	50.62
	内 日本	89,323,845,350	21.22
	内 ドイツ	39,257,636,762	9.33
	内 フランス	11,807,491,635	2.81
	内 オランダ	11,091,111,708	2.64
	内 ケイマン諸島	10,885,402,451	2.59
	内 台湾	8,262,552,480	1.96
	内 ジョージア	6,644,263,328	1.58
	内 イギリス	6,189,319,802	1.47
	内 スイス	5,869,435,128	1.39
	内 イスラエル	2,864,034,844	0.68
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）		15,656,266,406	3.72
純資産総額		420,894,042,924	100.00

その他資産の投資状況

（平成30年3月末日現在）

資産の種類		時価合計(円)	投資比率(%)
為替予約取引（買建）		2,666,057,849	0.63
	内 日本	2,666,057,849	0.63
為替予約取引（売建）		175,494,135	0.04
	内 日本	175,494,135	0.04

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）為替予約取引の時価については、原則として対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。

投資資産

（平成30年3月末日現在）

投資有価証券の主要銘柄

銘柄名	通貨 地域	種類 業種	数量 (株)	簿価単価 簿価金額 (円)	評価単価 時価金額 (円)	利率 (%) 償還 期限 (年/ 月/ 日)	投資 比率
1 キーエンス	日本・ 円 日本	株式 電気機器	226,400	55,488.51 12,562,599,965	66,040.00 14,951,456,000	- -	3.55%

2	AMAZON.COM INC.	アメリカ・ドル アメリカ	株式 小売	83,036	109,094.57 9,058,777,373	153,765.40 12,768,063,887	- -	3.03%
3	ファナック	日本・円 日本	株式 電気機器	449,600	23,206.75 10,433,755,400	26,960.00 12,121,216,000	- -	2.88%
4	ALPHABET INC-CL C	アメリカ・ドル アメリカ	株式 ソフトウェア・サービス	101,259	101,022.54 10,229,441,970	109,617.36 11,099,745,228	- -	2.64%
5	SIEMENS AG	ユーロ ドイツ	株式 資本財	729,976	14,646.51 10,691,603,334	13,511.43 9,863,019,917	- -	2.34%
6	PTC INC	アメリカ・ドル アメリカ	株式 ソフトウェア・サービス	1,153,378	5,978.45 6,895,423,267	8,287.78 9,558,945,888	- -	2.27%
7	APPLE INC.	アメリカ・ドル アメリカ	株式 テクノロジー・ハードウェアおよび機器	524,365	17,073.86 8,952,935,500	17,824.94 9,346,778,438	- -	2.22%
8	INTUITIVE SURGICAL INC	アメリカ・ドル アメリカ	株式 ヘルスケア機器・サービス	209,797	35,568.45 7,462,155,339	43,859.05 9,201,499,042	- -	2.19%
9	CISCO SYSTEMS INC	アメリカ・ドル アメリカ	株式 テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2,018,103	3,518.91 7,101,529,469	4,556.63 9,195,755,938	- -	2.18%
10	KION GROUP AG	ユーロ ドイツ	株式 資本財	927,003	9,451.11 8,761,209,261	9,885.58 9,163,966,766	- -	2.18%
11	IPG PHOTONICS CORP	アメリカ・ドル アメリカ	株式 テクノロジー・ハードウェアおよび機器	367,062	19,060.57 6,996,412,127	24,794.29 9,101,042,116	- -	2.16%
12	S M C	日本・円 日本	株式 機械	200,600	37,845.39 7,591,787,114	43,070.00 8,639,842,000	- -	2.05%

13	COGNEX CORP	アメリカ・ドル アメリカ	株式 テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1,550,103	5,733.60 8,887,682,310	5,523.41 8,561,866,192	- -	2.03%
14	THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	アメリカ・ドル アメリカ	株式 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	388,243	19,193.33 7,451,678,222	21,934.31 8,515,842,472	- -	2.02%
15	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	台湾・ドル 台湾	株式 半導体・半導体製造装置	9,303,000	801.76 7,458,812,772	888.16 8,262,552,480	- -	1.96%
16	日本電産	日本・円 日本	株式 電気機器	500,900	13,419.85 6,722,005,422	16,390.00 8,209,751,000	- -	1.95%
17	INFINEON TECHNOLOGIES AG	ユーロ ドイツ	株式 半導体・半導体製造装置	2,868,234	2,679.65 7,685,868,715	2,837.50 8,138,627,742	- -	1.93%
18	TERADYNE INC	アメリカ・ドル アメリカ	株式 半導体・半導体製造装置	1,662,113	3,817.24 6,344,695,715	4,856.23 8,071,603,678	- -	1.92%
19	VALEO SA	ユーロ フランス	株式 自動車・自動車部品	1,100,303	7,659.90 8,428,212,145	7,001.09 7,703,323,411	- -	1.83%
20	KONINKLIJKE PHILIPS NV	ユーロ オランダ	株式 ヘルスケア機器・サービス	1,863,497	4,192.27 7,812,294,112	4,067.65 7,580,064,379	- -	1.80%
21	MICROCHIP TECHNOLOGY INC	アメリカ・ドル アメリカ	株式 半導体・半導体製造装置	772,937	8,949.89 6,917,702,760	9,706.08 7,502,193,303	- -	1.78%
22	三菱電機	日本・円 日本	株式 電気機器	4,407,300	1,763.21 7,771,034,838	1,701.50 7,499,020,950	- -	1.78%
23	ROCKWELL AUTOMATION INC	アメリカ・ドル アメリカ	株式 資本財	402,520	18,041.50 7,262,065,429	18,507.00 7,449,440,860	- -	1.77%
24	オムロン	日本・円 日本	株式 電気機器	1,188,700	5,771.91 6,861,071,191	6,260.00 7,441,262,000	- -	1.77%

25	PARKER HANNIFIN CORP	アメリカ・ドル アメリカ	株式 資本財	399,551	18,291.01 7,308,194,208	18,170.22 7,259,932,447	- -	1.72%
26	安川電機	日本・円 日本	株式 電気機器	1,475,600	3,594.55 5,304,118,496	4,825.00 7,119,770,000	- -	1.69%
27	ミスミグループ本社	日本・円 日本	株式 卸売業	2,390,100	2,909.00 6,952,811,290	2,921.00 6,981,482,100	- -	1.66%
28	HONEYWELL INTERNATIONAL INC	アメリカ・ドル アメリカ	株式 資本財	454,291	14,919.78 6,777,922,843	15,352.74 6,974,612,697	- -	1.66%
29	QUALCOMM INC	アメリカ・ドル アメリカ	株式 半導体・半導体製造装置	1,166,070	5,952.85 6,941,451,193	5,886.75 6,864,372,367	- -	1.63%
30	TRIMBLE INC	アメリカ・ドル アメリカ	株式 テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1,788,593	4,019.56 7,189,365,504	3,811.89 6,817,921,917	- -	1.62%

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

種類別および業種別投資比率

（平成30年3月末日現在）

種類	国内/ 外国	業種	投資比率（%）
株式	国内	機械	4.87
		電気機器	14.69
		卸売業	1.66
	小計		21.22
	外国	未定義	1.47
		資本財	13.47
		自動車・自動車部品	5.25
		小売	3.03
		ヘルスケア機器・サービス	11.67
		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3.31
		ソフトウェア・サービス	8.39
		テクノロジー・ハードウェアおよび機器	12.51
		半導体・半導体製造装置	15.95
		小計	
合 計（対純資産総額比）			96.28

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

（平成30年3月末日現在）

種類	地域	資産名	買建/ 売建	数量	簿価	時価	投資 比率
為替予約 取引	日本	アメリカ・ドル買/円売2 018年04月	買 建	23,447,051	2,500,000,000	2,490,451,682	0.59%
		スイス・フラン買/円売2 018年04月	買 建	926,663	103,627,193	103,165,463	0.02%
		ユーロ買/円売2018年 04月	買 建	555,016	73,023,683	72,440,704	0.02%
		アメリカ・ドル売/円買2 018年04月	売 建	1,652,487	176,650,876	175,494,135	0.04%

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

（注2）為替予約取引の時価については、原則として対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。
為替予約取引の数量については、現地通貨建契約金額です。

（参考）マザーファンド

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

(1) 投資状況（平成30年3月30日現在）

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	66,421,283,271	100.00
純資産総額	66,421,283,271	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 投資資産（平成30年3月30日現在）

投資有価証券の主要銘柄

イ．主要銘柄の明細

該当事項はありません。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

該当事項はありません。

ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

[次へ](#)

(参考情報) 運用実績

● ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) —ロボテック(年1回)—(為替ヘッジあり)

2018年3月30日現在

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

基準価額	13,241円
純資産総額	49億円

基準価額の騰落率

期間	ファンド
1カ月間	-3.4%
3カ月間	-1.7%
6カ月間	6.0%
1年間	19.4%
3年間	-
5年間	-
設定来	32.4%



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

分配の推移(10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 0円 設定来分配金合計額: 0円

決算期	第1期								
	17年9月								
分配金	0円								

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

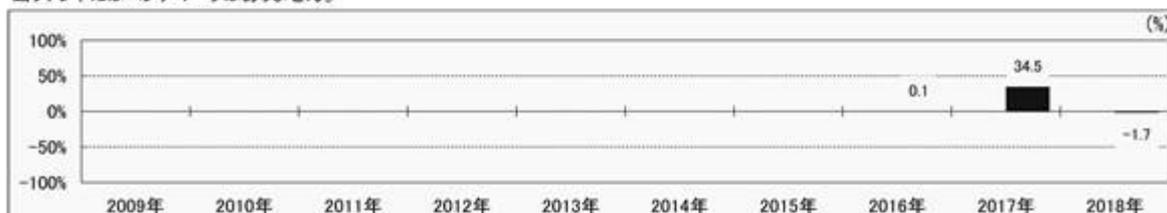
主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入上位10ファンド		
運用会社名	ファンド名	比率
アクサ・インベストメント・マネージャーズ	アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	99.2%
大和証券投資信託委託	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0.0%
合計		99.2%

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

・2016年は設定日(9月30日)から年末、2018年は3月30日までの騰落率を表しています。

最新の運用実績は、委託会社のホームページ、または販売会社でご確認いただけます。

(1) 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）並びに同規則第38条の3及び第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当中間計算期間（平成29年9月14日から平成30年3月13日まで）の中間財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により中間監査を受けております。

ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型） - ロボテック（年1回） - （為替ヘッジあり）

[次へ](#)

(1) 中間貸借対照表

	当中間計算期間末 平成30年3月13日現在	
	金額（円）	
資産の部		
流動資産		
金銭信託		85,718,402
コール・ローン		19,486,686
投資信託受益証券		5,055,132,740
親投資信託受益証券		3,996
流動資産合計		5,160,341,824
資産合計		5,160,341,824
負債の部		
流動負債		
未払解約金		10,575,627
未払受託者報酬		597,985
未払委託者報酬		26,313,212
その他未払費用		179,338
流動負債合計		37,666,162
負債合計		37,666,162
純資産の部		
元本等		
元本	1	3,660,423,424
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（　）		1,462,252,238
（分配準備積立金）		239,386,706
元本等合計		5,122,675,662
純資産合計		5,122,675,662
負債純資産合計		5,160,341,824

[次へ](#)

(2) 中間損益及び剰余金計算書

	当中間計算期間
	自 平成29年9月14日 至 平成30年3月13日 金額(円)
営業収益	
有価証券売買等損益	535,403,490
営業収益合計	535,403,490
営業費用	
支払利息	29,078
受託者報酬	597,985
委託者報酬	26,313,212
その他費用	179,338
営業費用合計	27,119,613
営業利益	508,283,877
経常利益	508,283,877
中間純利益	508,283,877
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額	92,040,663
期首剰余金又は期首欠損金()	732,205,553
剰余金増加額又は欠損金減少額	603,055,111
中間追加信託に伴う剰余金増加額 又は欠損金減少額	603,055,111
剰余金減少額又は欠損金増加額	289,251,640
中間一部解約に伴う剰余金減少額 又は欠損金増加額	289,251,640
中間剰余金又は中間欠損金()	1,462,252,238

[次へ](#)

(3) 中間注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	当中間計算期間 自 平成29年9月14日 至 平成30年3月13日
有価証券の評価基準及び評価方法	<p>(1)投資信託受益証券</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p> <p>(2)親投資信託受益証券</p> <p>移動平均法に基づき、時価で評価しております。時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p>

(中間貸借対照表に関する注記)

区 分	当中間計算期間末 平成30年3月13日現在
1. 1期首元本額	3,012,634,401円
期中追加設定元本額	1,766,164,618円
期中一部解約元本額	1,118,375,595円
2. 中間計算期間末日における受益権の総数	3,660,423,424口

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

区 分	当中間計算期間 自 平成29年9月14日 至 平成30年3月13日
	該当事項はありません。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	当中間計算期間末 平成30年3月13日現在
1. 金融商品の時価及び中間貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	<p>(1)有価証券</p> <p>重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p> <p>(2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等</p> <p>これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p>

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

当中間計算期間末 平成30年3月13日現在

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	当中間計算期間末 平成30年3月13日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.3995円 (13,995円)

(参考)

当ファンドは、「アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)」受益証券を主要投資対象としており、中間貸借対照表の資産の部に計上された「投資信託受益証券」は、すべて同ファンドの受益証券であります。

また、当ファンドは、「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、中間貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。

なお、同ファンドの状況及び当ファンドの中間計算期間末日(以下、「期末日」)における同マザーファンドの状況は次のとおりであります。

[次へ](#)

「アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

ファンドの経理状況

- (1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）ならびに同規則第2条の2の規定による「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）並びに我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して作成しております。なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- (2) 当ファンドの計算期間は6ヶ月であるため、財務諸表は6ヶ月毎に作成しております。
- (3) 当ファンドは、第2期計算期間（平成29年2月14日から平成29年8月14日まで）の財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人により監査を受けております。その監査報告書は、該当する財務諸表の直前に添付しております。

財務諸表

アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

(1) 貸借対照表

(単位：円)

	第1期 (平成29年2月13日現在)	第2期 (平成29年8月14日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	186,982	38,868,373
親投資信託受益証券	6,663,312,197	18,511,427,850
派生商品評価勘定	3,191,995	293,701,829
未収入金	-	4,510,940
流動資産合計	6,666,691,174	18,848,508,992
資産合計	6,666,691,174	18,848,508,992
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	47,495,371	-
未払金	-	310,030
未払受託者報酬	131,186	1,468,409
未払委託者報酬	3,312,554	37,077,506

その他未払費用	583,205	583,200
流動負債合計	51,522,316	39,439,145
負債合計	51,522,316	39,439,145
純資産の部		
元本等		
元本	6,208,585,784	15,737,979,927
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	406,583,074	3,071,089,920
（分配準備積立金）	328,594,835	1,644,558,209
元本等合計	6,615,168,858	18,809,069,847
純資産合計	6,615,168,858	18,809,069,847
負債純資産合計	6,666,691,174	18,848,508,992

（２）損益及び剰余金計算書

（単位：円）

	第1期 （自 平成28年10月3日 至 平成29年2月13日）	第2期 （自 平成29年2月14日 至 平成29年8月14日）
営業収益		
有価証券売買等損益	302,332,197	1,318,615,653
為替差損益	30,290,354	146,964,647
営業収益合計	332,622,551	1,465,580,300
営業費用		
支払利息	771	28,631
受託者報酬	131,186	1,468,409
委託者報酬	3,312,554	37,077,506
その他費用	583,205	604,808
営業費用合計	4,027,716	39,179,354
営業利益又は営業損失（ ）	328,594,835	1,426,400,946
経常利益又は経常損失（ ）	328,594,835	1,426,400,946
当期純利益又は当期純損失（ ）	328,594,835	1,426,400,946
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は 一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	-	91,491,454
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	-	406,583,074
剰余金増加額又は欠損金減少額	77,988,239	1,421,071,772
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少 額	77,988,239	1,421,071,772
剰余金減少額又は欠損金増加額	-	91,474,418
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加 額	-	91,474,418
分配金	-	-
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	406,583,074	3,071,089,920

(3) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法による時価で評価しております。 なお、時価は、親投資信託受益証券の基準価額を用いております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価に当たっては、原則として計算期間末日において、為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は当該仲値、仲値が発表されていない場合には、発表されている先物相場のうち受渡日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算しております。
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	当ファンドの計算期間は原則として、毎年8月14日から2月13日まで及び、2月14日から8月13日までとなっておりますが、平成29年8月13日が休業日のため、当計算期間は平成29年2月14日から平成29年8月14日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

		第1期 (平成29年2月13日現在)	第2期 (平成29年8月14日現在)
1.	投資信託財産に係る元本の状況		
	期首元本額	10,868,000円	6,208,585,784円
	期中追加設定元本額	6,197,717,784円	10,411,428,267円
	期中一部解約元本額	- 円	882,034,124円
2.	受益権の総数	6,208,585,784口	15,737,979,927口

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第1期 (自平成28年10月3日 至平成29年2月13日)		第2期 (自平成29年2月14日 至平成29年8月14日)	
分配金の計算過程		分配金の計算過程	
費用控除後の配当等収益額	2,537,117円	費用控除後の配当等収益額	87,134,705円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	326,057,718円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	1,247,774,787円
収益調整金額	77,988,239円	収益調整金額	1,426,531,711円
分配準備積立金額	- 円	分配準備積立金額	309,648,717円
当ファンドの分配対象収益額	406,583,074円	当ファンドの分配対象収益額	3,071,089,920円
当ファンドの期末残存口数	6,208,585,784口	当ファンドの期末残存口数	15,737,979,927口
1万口当たり収益分配対象額	654.86円	1万口当たり収益分配対象額	1,951.39円

1万口当たり分配金額	- 円	1万口当たり分配金額	- 円
収益分配金金額	- 円	収益分配金金額	- 円

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

	第1期 自 平成28年10月3日 至 平成29年2月13日	第2期 自 平成29年2月14日 至 平成29年8月14日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する主な金融資産は親投資信託受益証券であり、売買目的で保有しております。 デリバティブ取引には、通貨関連では為替予約取引が含まれております。デリバティブ取引は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避する目的で利用しています。 投資対象とする金融商品の主なリスクは価格が変動する事によって発生する市場リスク、金融商品の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合に発生する信用リスク、及び金融商品の取引量が著しく乏しい場合に発生する流動性リスクがあります。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	運用部門、営業部門と独立した組織であるリスク&コントロール部門を設置し、全社的なリスク管理活動およびガイドラインのモニタリング、指導の一元化を図っております。	同左

金融商品の時価等に関する事項

	第1期 平成29年2月13日現在	第2期 平成29年8月14日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているため、その差額はありませぬ。	同左

2. 時価の算定方法	<p>(1)有価証券 売買目的有価証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。</p> <p>(2)デリバティブ取引 (デリバティブ取引等に関する注記)に記載しております。</p> <p>(3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p>	<p>(1)有価証券 同左</p> <p>(2)デリバティブ取引 同左</p> <p>(3)上記以外の金融商品 同左</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p> <p>また、デリバティブ取引に関する契約額等はあくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。</p>	同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

(単位：円)

種類	第1期 (平成29年2月13日現在)	第2期 (平成29年8月14日現在)
	当計算期間の損益に含まれた評価差額	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	302,275,302	1,244,104,279
合計	302,275,302	1,244,104,279

(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の時価等に関する事項

(通貨関連)

(単位：円)

種類	第1期 (平成29年2月13日 現在)				第2期 (平成29年8月14日 現在)			
	契約額等	うち 1年 超	時価	評価損益	契約額等	うち 1年 超	時価	評価損益
市場取引以外の取引 為替予約取引								
売 建	5,184,841,074	-	5,229,144,450	44,303,376	14,786,188,209	-	14,492,486,380	293,701,829
アメリカ・ドル	4,250,979,951	-	4,297,254,750	46,274,799	11,819,331,111	-	11,555,415,690	263,915,421
ユーロ	852,107,678	-	850,567,560	1,540,118	2,619,112,698	-	2,601,530,440	17,582,258
スイス・フラン	81,753,445	-	81,322,140	431,305	347,744,400	-	335,540,250	12,204,150
合計	5,184,841,074	-	5,229,144,450	44,303,376	14,786,188,209	-	14,492,486,380	293,701,829

(注) 1. 時価の算定方法

1) 計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のよう
に評価しております。

計算期間末日において為替予約の受渡日（以下、「当該日」とする。）の対顧客先物
売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は、当該仲値で評価してあり
ます。

計算期間末日において当該日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合
は、以下の方法によっております。

- ・ 計算期間末日に当該日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発
表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計
算したレートを用いております。

- ・ 計算期間末日に当該日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、
当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

2) 計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、計算期
間末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。

3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	第1期 (平成29年2月13日現在)	第2期 (平成29年8月14日現在)
1口当たり純資産額	1.0655円	1.1951円
(1万口当たり純資産額)	(10,655円)	(11,951円)

(重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。

（４）附属明細表

第１ 有価証券明細表

（１）株式

該当事項はありません。

（２）株式以外の有価証券

（単位：円）

種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
親投資信託受益証券	アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド	18,279,280,982	18,511,427,850	
親投資信託受益証券 合計		18,279,280,982	18,511,427,850	
合計		18,279,280,982	18,511,427,850	

（注）親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

第２ 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第３ デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表（デリバティブ取引等に関する注記）」に記載しております。

参考情報

当ファンドは親投資信託受益証券を主要投資対象としております。貸借対照表の資産の部に計上された親投資信託受益証券の状況は以下の通りです。

「アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド

１ 貸借対照表

（単位：円）

	平成29年2月13日現在	平成29年8月14日現在
資産の部		
流動資産		

預金	3,021,351,749	8,011,034,835
金銭信託	98,112	651,222
コール・ローン	1,773,693,360	2,516,864,896
株式	120,507,432,464	224,559,852,865
未収入金	343,832,700	755,936,308
未収配当金	56,691,559	119,706,697
流動資産合計	125,703,099,944	235,964,046,823
資産合計	125,703,099,944	235,964,046,823
負債の部		
流動負債		
未払金	1,827,008,264	1,633,047,687
未払利息	4,422	-
その他未払費用	34,345	-
流動負債合計	1,827,047,031	1,633,047,687
負債合計	1,827,047,031	1,633,047,687
純資産の部		
元本等		
元本	135,984,073,157	231,382,404,811
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）	12,108,020,244	2,948,594,325
元本等合計	123,876,052,913	234,330,999,136
純資産合計	123,876,052,913	234,330,999,136
負債純資産合計	125,703,099,944	235,964,046,823

2 注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	組入有価証券（株式）については移動平均法に基づき、以下のとおり、原則として時価で評価しております。
--------------------	---

<p>2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法</p> <p>3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項</p>	<p>金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は原則として、金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の最終相場）で評価しております。計算期間末日に当該金融商品取引所等の最終相場がない場合は、当該金融商品取引所等における直近の最終相場もしくは当該金融商品取引所等における計算期間末日又は直近の日の気配相場で評価しております。</p> <p>金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格情報会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p> <p>時価が入手できなかった有価証券 適正な時価を入手できなかった場合、又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p> <p>為替予約取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価に当たっては、原則として計算期間末日において、為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は当該仲値、仲値が発表されていない場合には、発表されている先物相場のうち受渡日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算しております。</p> <p>外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。ただし、同第61条に基づき外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定および外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産総額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>
--	---

（貸借対照表に関する注記）

		平成29年2月13日現在	平成29年8月14日現在
1.	投資信託財産に係る元本の状況		
	期首元本額	137,305,469,332円	135,984,073,157円
	期中追加設定元本額	20,479,585,004円	100,710,609,959円
	期中一部解約元本額	21,800,981,179円	5,312,278,305円
	元本の内訳		
	ファンド名		
	アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	128,669,789,735円	213,103,123,829円

	アクサ IM・グローバル・ロボット関連 株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格 機関投資家専用）	7,314,283,422円	18,279,280,982円
	計	135,984,073,157円	231,382,404,811円
2.	受益権の総数	135,984,073,157口	231,382,404,811口
3.	元本の欠損 純資産額が元本総額を下回る場合におけ るその差額	12,108,020,244円	円

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

	自 平成28年10月 3日 至 平成29年2月13日	自 平成29年2月14日 至 平成29年8月14日
1. 金融商品に対する取組 方針	当該親投資信託は、「投資信託及び投資 法人に関する法律」（昭和26年法律第 198号）第2条第4項に定める証券投資 信託であり、有価証券等の金融商品への 投資を信託約款に定める「運用の基本方 針」に基づき行っております。	同左
2. 金融商品の内容及び当 該金融商品に係るリスク	当該親投資信託が保有する主な金融資産 は株式であり、売買目的で保有しており ます。 デリバティブ取引には、通貨関連では為 替予約取引が含まれております。デリバ ティブ取引は、信託財産に属する資産の 効率的な運用に資するため、ならびに価 格変動リスクを回避する目的で利用して います。 投資対象とする金融商品の主なリスクは 価格が変動する事によって発生する市場 リスク、金融商品の発行者や取引先等の 経営・財務状況が悪化した場合に発生す る信用リスク、及び金融商品の取引量が 著しく乏しい場合に発生する流動性リス クがあります。	同左
3. 金融商品に係るリスク 管理体制	当該親投資信託に投資する証券投資信託 の注記表（金融商品に関する注記）に記 載しております。	同左

金融商品の時価等に関する事項

	平成29年2月13日現在	平成29年8月14日現在
1. 貸借対照表計上額、 時価及びその差額	時価で計上しているため、その差額は ありません。	同左

2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券 売買目的有価証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引 該当事項はありません。</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p>	<p>(1) 有価証券 同左</p> <p>(2) デリバティブ取引 同左</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 同左</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	当該親投資信託に投資する証券投資信託の注記表（金融商品に関する注記）に記載しております。	同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

(単位：円)

種類	平成29年2月13日現在	平成29年8月14日現在
	当計算期間の損益に含まれた評価差額	当計算期間の損益に含まれた評価差額
株式	12,563,971,636	29,174,498,417
合計	12,563,971,636	29,174,498,417

(注)当計算期間の損益に含まれた評価差額は、当該親投資信託の期首日から本書における開示対象ファンドの計算期間末日までに対応する金額であります。

(デリバティブ取引等に関する注記)

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	平成29年2月13日現在	平成29年8月14日現在
1口当たり純資産額	0.9110円	1.0127円
(1万口当たり純資産額)	(9,110円)	(10,127円)

(重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。

3 附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

通貨	銘柄	株式数	評価額		備考
			単価	金額	
日本円	ナブテスコ	1,124,100	3,695	4,153,549,500	
	S M C	137,100	34,190	4,687,449,000	
	三菱電機	2,782,200	1,671	4,649,056,200	
	安川電機	2,093,600	3,205	6,709,988,000	
	日本電産	342,300	12,375	4,235,962,500	
	オムロン	832,100	5,460	4,543,266,000	
	ルネサスエレクトロニクス	1,909,100	1,034	1,974,009,400	
	キーエンス	154,300	51,380	7,927,934,000	
	ファナック	317,700	21,765	6,914,740,500	
	ミスミグループ本社	1,687,900	2,785	4,700,801,500	
日本円 小計		11,380,400		50,496,756,600	
アメリカ・ドル	SENSATA TECHNOLOGIES HOLDING	679,062	44.03	29,899,099.86	
	STRATASYS LTD	874,052	22.95	20,059,493.40	
	DELPHI AUTOMOTIVE PLC	429,962	92.34	39,702,691.08	
	ALPHABET INC-CL C	72,340	914.39	66,146,972.60	
	AMAZON.COM INC.	59,190	967.99	57,295,328.10	
	APPLE INC.	344,928	157.48	54,319,261.44	
	BAIDU INC - SPON ADR	188,491	223.49	42,125,853.59	
	BECTON DICKINSON & CO	175,523	200.36	35,167,788.28	
	CADENCE DESIGN SYS INC	1,219,154	36.34	44,304,056.36	
	CISCO SYSTEMS INC	1,445,132	31.47	45,478,304.04	
	COGNEX CORP	475,103	101.52	48,232,456.56	
	DEXCOM INC	339,676	69.60	23,641,449.60	
	GENERAL ELECTRIC CO	1,346,564	25.20	33,933,412.80	
	GLOBUS MEDICAL INC-A	491,467	29.30	14,399,983.10	
	HONEYWELL INTERNATIONAL INC	323,573	136.59	44,196,836.07	
	IPG PHOTONICS CORP	262,845	163.93	43,088,180.85	
	INTUITIVE SURGICAL INC	49,766	942.25	46,892,013.50	
	LUMENTUM HOLDINGS INC	520,666	51.95	27,048,598.70	
	MANHATTAN ASSOCIATES INC	372,344	43.40	16,159,729.60	
	MICROCHIP TECHNOLOGY INC	455,282	82.21	37,428,733.22	
	NVIDIA CORP	189,518	155.96	29,557,227.28	
	NUVASIVE INC	304,155	66.63	20,265,847.65	
	PTC INC	823,402	53.34	43,920,262.68	
	PARKER HANNIFIN CORP	188,941	157.02	29,667,515.82	
QUALCOMM INC	731,373	52.72	38,557,984.56		

	ROCKWELL AUTOMATION INC	287,405	161.66	46,461,892.30	
	STRYKER CORP	152,642	144.18	22,007,923.56	
	TERADYNE INC	1,190,211	33.48	39,848,264.28	
	TEXAS INSTRUMENTS INC	439,253	80.89	35,531,175.17	
	THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	262,517	173.23	45,475,819.91	
	TRIMBLE INC	1,090,666	36.48	39,787,495.68	
	ZIMMER BIOMET HOLDINGS INC	225,659	111.70	25,206,110.30	
	AMBARELLA INC	622,475	50.70	31,559,482.50	
アメリカ・ドル 小計		16,633,337		1,217,367,244.44 (133,204,323,887)	
スイス・フラン	ABB LTD	1,625,085	21.98	35,719,368.30	
スイス・フラン 小計		1,625,085		35,719,368.30 (4,054,862,689)	
ユーロ	CONTINENTAL AG	148,149	189.65	28,096,457.85	
	DUERR AG	289,355	96.29	27,861,992.95	
	SIEMENS AG	481,958	109.20	52,629,813.60	
	INFINEON TECHNOLOGIES AG	1,521,327	18.96	28,844,359.92	
	KONINKLIJKE PHILIPS NV	1,200,507	31.355	37,641,896.98	
	KION GROUP AG	477,368	72.20	34,465,969.60	
	VALEO SA	662,039	57.05	37,769,324.95	
ユーロ 小計		4,780,703		247,309,815.85 (31,977,159,189)	
台湾・ドル	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	6,292,000	212.50	1,337,050,000.00	
台湾・ドル 小計		6,292,000		1,337,050,000.00 (4,826,750,500)	
合計		40,711,525		224,559,852,865 (174,063,096,265)	

有価証券明細表注記

1. 各種通貨ごとの小計の欄における()内の金額は、邦貨換算額であります。
2. 合計欄の()内の金額は、外貨建有価証券の邦貨換算額の合計額であり、内数で表示しております。
3. 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入株式 時価比率	合計金額に 対する比率
アメリカ・ドル	株式 33銘柄	100%	76.5%
スイス・フラン	株式 1銘柄	100%	2.3%
ユーロ	株式 7銘柄	100%	18.4%

台湾・ドル	株式	1銘柄	100%	2.8%
-------	----	-----	------	------

(2) 株式以外の有価証券

該当事項はありません。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

[次へ](#)

「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	平成30年3月13日現在	
	金額（円）	
資産の部		
流動資産		
金銭信託		41,503,728,000
コール・ローン		9,435,198,277
流動資産合計		50,938,926,277
資産合計		50,938,926,277
負債の部		
流動負債		
未払解約金		120,000,000
その他未払費用		12,067
流動負債合計		120,012,067
負債合計		120,012,067
純資産の部		
元本等		
元本	1	50,671,615,722
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		147,298,488
元本等合計		50,818,914,210
純資産合計		50,818,914,210
負債純資産合計		50,938,926,277

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 平成29年9月14日 至 平成30年3月13日
有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券</p> <p>個別法に基づき、時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額又は日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）等で評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>

（貸借対照表に関する注記）

区 分	平成30年3月13日現在
1. 1 期首	平成29年9月14日
期首元本額	30,533,594,286円
期中追加設定元本額	34,983,141,393円
期中一部解約元本額	14,845,119,957円
期末元本額の内訳 ファンド名	

ダイワ米国担保付貸付債権 ファンド(為替ヘッジあり)	3,021,993円
ダイワ米国担保付貸付債権 ファンド(為替ヘッジなし)	1,018,149円
ダイワ米国バンクローン・ ファンド(為替ヘッジあり) 2014-07	9,963円
ダイワ米国バンクローン・ ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09	9,963円
ダイワ米国バンクローン・ ファンド(為替ヘッジあり) 2014-11	9,962円
ロボット・テクノロジー関連 株ファンド - ロボテック -	947,268円
ダイワノミレーアセット・イン ド株式ファンド - インドの 匠 -	29,910,270円
新興国ソブリン・豪ドルファ ンド(毎月決算型)	999円
新興国ソブリン・ブラジルレ アルファンド(毎月決算型)	999円
新興国ソブリン・ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算 型)	999円
US短期ハイ・イールド社債 ファンド(為替ヘッジあり/ 毎月決算型)	102,434円
US短期高利回り社債ファン ド(為替ヘッジあり/年1回決 算型)	1,994円
ロボット・テクノロジー関連 株ファンド - ロボテック - (為替ヘッジあり)	39,849円
ロボット・テクノロジー関連 株ファンド(年1回決算型) - ロボテック(年1回) - (為 替ヘッジあり)	3,985円
ダイワ上場投信 - 日経平均レ バレッジ・インデックス	7,207,745,407円
ダイワ上場投信 - 日経平均ダ ブルインバース・インデック ス	4,665,899,497円
ダイワ上場投信 - TOPIXレバ レッジ(2倍)指数	4,146,835,559円
ダイワ上場投信 - TOPIXダブル インバース(-2倍)指数	692,270,670円
ダイワ上場投信 - 日経平均イン バース・インデックス	5,524,811,329円
ダイワ上場投信 - TOPIXイン バース(-1倍)指数	6,237,587,965円
ダイワ上場投信 - J P X日経 400レバレッジ・インデックス	333,527,364円
ダイワ上場投信 - J P X日経 400インバース・インデックス	4,003,577,385円

ダイワ上場投信 - J P X日経 400ダブルインバース・イン デックス	185,234,476円
ダイワ米国投資法人債ファン ド(為替ヘッジあり)2016-07	997円
ダイワ米国投資法人債ファン ド(部分為替ヘッジあり) 2016-07	997円
ダイワ米国投資法人債ファン ド(為替ヘッジあり)2017-06	997円
ダイワ米国投資法人債ファン ド(部分為替ヘッジあり) 2017-06	997円
ダイワ米国投資法人債ファン ド(為替ヘッジあり)2016-10	997円
ダイワ米国投資法人債ファン ド(部分為替ヘッジあり) 2016-10	997円
ダイワ日本株式ベア・ファン ド(適格機関投資家専用)	3,131,518,538円
低リスク型アロケーション ファンド(金利トレンド判断 付き/適格機関投資家専用)	199,401,795円
ダイワ日本国債15-20年ラダー 型ファンド・マネーポート フォリオ - SLトレード -	46,217,736円
ダイワ/モルガン・スタン レー新興4カ国不動産関連 ファンド - 成長の槌音(つち おと) -	5,020,480円
ダイワ/ハリス世界厳選株 ファンド・マネー・ポート フォリオ	138,884,824円
ダイワ・アセアン内需関連株 ファンド・マネー・ポート フォリオ	105,700,544円
低リスク型アロケーション ファンド(適格機関投資家専 用)	13,958,125,625円
通貨選択型ダイワ/ミレーア セット・グローバル・グレー トコンシューマー株式ファン ド 豪ドル・コース(毎月分 配型)	1,193,491円
通貨選択型ダイワ/ミレーア セット・グローバル・グレー トコンシューマー株式ファン ド ブラジル・リアル・コー ス(毎月分配型)	2,981,988円
通貨選択型ダイワ/ミレーア セット・グローバル・グレー トコンシューマー株式ファン ド 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	1,990,542円

ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)	9,957円
ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジあり)	997円
ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジなし)	997円
ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)	997円
ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし)	997円
ダイワ/ミレーアセット亜細亜株式ファンド	9,958,176円
<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リート 為替ヘッジあり	49,806円
<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リート 為替ヘッジなし	49,806円
通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル好配当株(毎月分配型)米ドル・コース	1,989,053円
通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル好配当株(毎月分配型)ブラジル・リアル・コース	2,978,118円
通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル好配当株(毎月分配型)通貨セレクト・コース	1,691,241円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型)	100,588円
-ロボテック(年1回)-	
ダイワ先進国リート 為替ヘッジあり(毎月分配型)	399,083円
ダイワ先進国リート 為替ヘッジなし(毎月分配型)	99,771円
通貨選択型ダイワ先進国リート 円ヘッジコース(毎月分配型)	399,083円
通貨選択型ダイワ先進国リート 通貨セレクトコース(毎月分配型)	99,771円
ダイワ/ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジあり)	1,091,429円
ダイワ/ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジなし)	315,004円
ダイワ/ミレーアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド	10,009,811円

ダイワ日本株ストラテジー (通貨選択型) - ジャパン・ トリプルリターンズ - 日本 円・コース(毎月分配型)	398,764円
ダイワ日本株ストラテジー (通貨選択型) - ジャパン・ トリプルリターンズ - 豪ド ル・コース(毎月分配型)	99,691円
ダイワ日本株ストラテジー (通貨選択型) - ジャパン・ トリプルリターンズ - ブラジ ル・リアル・コース(毎月分 配型)	398,764円
ダイワ日本株ストラテジー (通貨選択型) - ジャパン・ トリプルリターンズ - 米ド ル・コース(毎月分配型)	398,764円
ダイワ日本株ストラテジー (通貨選択型) - ジャパン・ トリプルリターンズ - 通貨セ レクト・コース(毎月分配 型)	1,993,820円
通貨選択型ダイワ米国厳選株 ファンド - イーグルアイ - 予想分配金提示型 日本円・ コース	1,496,804円
通貨選択型ダイワ米国厳選株 ファンド - イーグルアイ - 予想分配金提示型 豪ドル・ コース	499,994円
通貨選択型ダイワ米国厳選株 ファンド - イーグルアイ - 予想分配金提示型 ブラジル・ リアル・コース	1,496,804円
通貨選択型ダイワ米国厳選株 ファンド - イーグルアイ - 予想分配金提示型 米ドル・ コース	9,976,045円
通貨選択型ダイワ米国厳選株 ファンド - イーグルアイ - 予想分配金提示型 通貨セレクト ・コース	2,001,563円
計	50,671,615,722円
2. 期末日における受益権の総数	50,671,615,722口

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区分	平成30年3月13日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表 計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と 時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいこ とから、当該帳簿価額を時価としております。

（デリバティブ取引に関する注記）

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

平成30年3月13日現在

該当事項はありません。

（1口当たり情報）

平成30年3月13日現在

1口当たり純資産額	1.0029円
（1万口当たり純資産額）	（10,029円）

2 【ファンドの現況】

原有価証券届出書の「第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況 2 ファンドの現況」を次の内容に訂正・更新します。

<訂正後>

【純資産額計算書】

平成30年3月30日

資産総額	4,933,935,890円
負債総額	2,855,983円
純資産総額（ - ）	4,931,079,907円
発行済数量	3,724,147,193口
1単位当たり純資産額（ / ）	1.3241円

(参考) アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

純資産額計算書

（平成30年3月末日現在）

資産総額	25,952,315,125円
負債総額	117,397,885円
純資産総額（ - ）	25,834,917,240円
発行済数量	19,110,782,440口
1単位当たり純資産額（ / ）	1.3519円

参考情報 アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド
純資産額計算書

（平成30年3月末日現在）

資産総額	423,358,444,964円
負債総額	2,464,402,040円
純資産総額（ - ）	420,894,042,924円
発行済数量	369,233,122,858口
1単位当たり純資産額（ / ）	1.1399円

(参考) ダイワ・マネースtock・マザーファンド

純資産額計算書

平成30年3月30日

資産総額	66,871,777,133円
負債総額	450,493,862円
純資産総額（ - ）	66,421,283,271円
発行済数量	66,230,994,774口
1単位当たり純資産額（ / ）	1.0029円

第三部 【委託会社等の情報】

第1 【委託会社等の概況】

原有価証券届出書の「第三部 委託会社等の情報 第1 委託会社等の概況 1 委託会社等の概況 および2 事業の内容及び営業の概況」を次の内容に訂正・更新します。

<訂正後>

1 【委託会社等の概況】

a. 資本金の額

2018年3月末日現在

資本金の額 151億7,427万2,500円

発行可能株式総数 799万9,980株

発行済株式総数 260万8,525株

過去5年間における資本金の額の増減：該当事項はありません。

b. 委託会社の機構

会社の意思決定機構

業務執行上重要な事項は、取締役会の決議をもって決定します。取締役は、株主総会において選任され、その任期は選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結のときまでです。

取締役会は、4名以内の代表取締役を選定し、代表取締役は、会社を代表し、取締役会の決議にしたがい業務を執行します。

また、取締役、役付執行役員等から構成される経営会議は、経営全般にかかる基本的事項を審議し、決定します。経営会議は、分科会を設置し、専門的な事項についてはその権限を委ねることができます。

投資運用の意思決定機構

投資運用の意思決定機構の概要は、以下のとおりとなっています。

イ. ファンド個別会議

ファンド運営上の諸方針を記載した基本計画書を経営会議の分科会であるファンド個別会議において審議・決定します。

ロ. 投資環境検討会

運用最高責任者であるCIO (Chief Investment Officer) が議長となり、原則として月1回投資環境検討会を開催し、投資環境について検討します。

ハ. 運用会議

CIOが議長となり、原則として月1回運用会議を開催し、基本的な運用方針を決定します。

ニ. 運用部長・ファンドマネージャー

ファンドマネージャーは、基本計画書に定められた各ファンドの諸方針と運用会議で決定された基本的な運用方針にしたがって運用計画書を作成します。運用部長は、ファンドマネージャーから提示を受けた運用計画書について、基本計画書および運用会議の決定事項との整合性等を確認し、承認します。

ホ．ファンド評価会議、運用審査会議、リスクマネジメント会議および執行役員会議

・ファンド評価会議

運用実績・運用リスクの状況について、分析・検討を行ない、運用部にフィードバックします。

・運用審査会議

経営会議の分科会として、ファンドの運用実績の状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

・リスクマネジメント会議

経営会議の分科会として、ファンドの運用リスクの状況・運用リスク管理等の状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

・執行役員会議

経営会議の分科会として、法令等の遵守状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

2 【事業の内容及び営業の概況】

委託会社は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社として、証券投資信託の設定を行なうとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行なっています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務等の関連する業務を行なっています。

2018年3月末日現在、委託会社が運用を行なっている投資信託（親投資信託を除きます。）は次のとおりです。

基本的性格	本数（本）	純資産額の合計額（百万円）
単位型株式投資信託	81	194,879
追加型株式投資信託	701	14,968,640
株式投資信託 合計	782	15,163,519
単位型公社債投資信託	24	102,614
追加型公社債投資信託	14	1,465,034
公社債投資信託 合計	38	1,567,648
総合計	820	16,731,166

3 【委託会社等の経理状況】

原有価証券届出書の「第三部 委託会社等の情報 第1 委託会社等の概況 3 委託会社等の経理状況」を次の内容に訂正・更新します。

<訂正後>

1．当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

また、当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号。以下「中間財務諸表等規則」という。）並びに同規則第38条及び第57条の規定により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

2．当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第58期事業年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）の財務諸表についての監査を、有限責任 あずさ監査法人により受けております。

また、第59期事業年度に係る中間会計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）の中間財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により中間監査を受けております。

3．財務諸表及び中間財務諸表の記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

(1) 【貸借対照表】

（単位:百万円）

	前事業年度 （平成28年3月31日）	当事業年度 （平成29年3月31日）
資産の部		
流動資産		
現金・預金	31,715	31,260
有価証券	1,137	110
前払費用	159	190
未収委託者報酬	9,896	10,453
未収収益	87	72
繰延税金資産	468	439
その他	83	34
流動資産計	43,547	42,560
固定資産		
有形固定資産	1	1
建物	243	229
器具備品	18	15
	224	214

無形固定資産	2,706	2,650
ソフトウェア	2,385	2,323
ソフトウェア仮勘定	321	327
投資その他の資産	14,223	12,353
投資有価証券	7,872	5,920
関係会社株式	5,129	5,129
出資金	123	185
長期差入保証金	1,049	1,050
繰延税金資産	-	31
その他	47	37
固定資産計	17,173	15,234
資産合計	60,720	57,795

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当事業年度 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
預り金	61	79
未払金	8,789	9,466
未払収益分配金	5	7
未払償還金	63	59
未払手数料	4,330	4,453
その他未払金	2	4,946
未払費用	4,215	4,077
未払法人税等	1,155	980
未払消費税等	538	223
賞与引当金	937	945
その他	22	3
流動負債計	15,720	15,776
固定負債		
退職給付引当金	2,209	2,318
役員退職慰労引当金	93	151
繰延税金負債	1,410	-
その他	-	7
固定負債計	3,714	2,477
負債合計	19,435	18,254

純資産の部		
株主資本		
資本金	15,174	15,174
資本剰余金		
資本準備金	11,495	11,495
資本剰余金合計	11,495	11,495
利益剰余金		
利益準備金	374	374
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	13,960	12,231
利益剰余金合計	14,334	12,606
株主資本合計	41,004	39,276
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	280	264
評価・換算差額等合計	280	264
純資産合計	41,284	39,540
負債・純資産合計	60,720	57,795

(2) 【損益計算書】

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	88,850	79,747
その他営業収益	799	727
営業収益計	89,650	80,474
営業費用		
支払手数料	46,165	40,110
広告宣伝費	646	549
調査費	10,116	9,436
調査費	925	904
委託調査費	9,191	8,531
委託計算費	761	793
営業雑経費	1,346	1,375
通信費	249	251
印刷費	515	501
協会費	53	50
諸会費	14	13

その他営業雑経費	513	557
営業費用計	59,036	52,265
一般管理費		
給料	5,797	5,833
役員報酬	354	416
給料・手当	3,850	3,940
賞与	654	531
賞与引当金繰入額	937	945
福利厚生費	837	807
交際費	70	60
旅費交通費	211	178
租税公課	325	531
不動産賃借料	1,258	1,273
退職給付費用	394	463
役員退職慰労引当金繰入額	37	60
固定資産減価償却費	1,110	1,045
諸経費	1,486	1,400
一般管理費計	11,531	11,655
営業利益	19,082	16,554

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
営業外収益		
受取配当金	109	92
受取利息	25	12
投資有価証券売却益	115	224
有価証券償還益	0	94
外国税関連費用引当金戻入益	171	-
その他	72	56
営業外収益計	496	481
営業外費用		
投資有価証券売却損	14	24
その他	94	75
営業外費用計	108	100
経常利益	19,471	16,935
特別損失		
MMF等償還関連費用	-	305

特別損失計	-	305
税引前当期純利益	19,471	16,629
法人税、住民税及び事業税	6,215	6,501
法人税等調整額	6	1,405
法人税等合計	6,209	5,096
当期純利益	13,262	11,533

(3) 【株主資本等変動計算書】

前事業年度（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	15,174	11,495	374	14,126	14,501	41,171
当期変動額						
剰余金の配当	-	-	-	13,428	13,428	13,428
当期純利益	-	-	-	13,262	13,262	13,262
株主資本以外の 項目の当期変動 額（純額）	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	-	166	166	166
当期末残高	15,174	11,495	374	13,960	14,334	41,004

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価 証券評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	702	702	41,873
当期変動額			
剰余金の配当	-	-	13,428
当期純利益	-	-	13,262
株主資本以外の 項目の当期変動 額（純額）	422	422	422
当期変動額合計	422	422	589

当期末残高	280	280	41,284
-------	-----	-----	--------

当事業年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計	
				繰越利益 剰余金		
当期首残高	15,174	11,495	374	13,960	14,334	41,004
当期変動額						
剰余金の配当	-	-	-	13,261	13,261	13,261
当期純利益	-	-	-	11,533	11,533	11,533
株主資本以外の 項目の当期変動 額（純額）	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	-	1,728	1,728	1,728
当期末残高	15,174	11,495	374	12,231	12,606	39,276

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価 証券評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	280	280	41,284
当期変動額			
剰余金の配当	-	-	13,261
当期純利益	-	-	11,533
株主資本以外の 項目の当期変動 額（純額）	15	15	15
当期変動額合計	15	15	1,743
当期末残高	264	264	39,540

注記事項

（重要な会計方針）

1．有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式

移動平均法による原価法により計上しております。

(2) その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

2．固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下の通りであります。

建物 10～18年

器具備品 4～20年

(2) 無形固定資産

定額法によっております。なお、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間（5年間）に基づく定額法によっております。

3．引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

役員及び従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当社の退職金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。これは、当社の退職金は、将来の昇給等による給付額の変動がなく、貢献度、能力及び実績等に応じて各事業年度毎に各人別の勤務費用が確定するためであります。また、執行役員・参与についても、当社の退職金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。

(3) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、当社の役員退職慰労金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。

4．消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

5．連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

（表示方法の変更）

（損益計算書）

前事業年度において、「営業外収益」の「その他」に含めておりました「有価証券償還益」は、営業外収益の総額の100分の10を超えたため、当事業年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の財務諸表において、「営業外収益」の「その他」に表示していた73百万円は、「有価証券償還益」0百万円、「その他」72百万円として組替えております。

（追加情報）

「繰延税金資産の回収可能性に関する摘要指針（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）」を当期から適用しております。

（貸借対照表関係）

1 有形固定資産の減価償却累計額

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当事業年度 (平成29年3月31日)
建物	23百万円	26百万円
器具備品	232百万円	264百万円

2 関係会社項目

関係会社に対する資産及び負債には区分掲記されたもののほか次のものがあります。

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当事業年度 (平成29年3月31日)
未払金	4,320百万円	4,877百万円

3 保証債務

前事業年度（平成28年3月31日）

子会社であるDaiwa Asset Management(Singapore)Ltd.の債務1,749百万円に対して保証を行っております。

当事業年度（平成29年3月31日）

子会社であるDaiwa Asset Management(Singapore)Ltd.の債務1,685百万円に対して保証を行っております。

（株主資本等変動計算書関係）

前事業年度（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

1 発行済株式の種類及び総数に関する事項

（単位：千株）

	当事業年度期首 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式				
普通株式	2,608	-	-	2,608
合 計	2,608	-	-	2,608

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	剰余金の配当の 総額（百万円）	1株当たり 配当額（円）	基準日	効力発生日
平成27年6月23日 定時株主総会	普通株式	13,428	5,148	平成27年 3月31日	平成27年 6月24日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成28年6月23日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

剰余金の配当の総額	13,262百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	5,084円
基準日	平成28年3月31日
効力発生日	平成28年6月24日

当事業年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

（単位：千株）

	当事業年度期首 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式				
普通株式	2,608	-	-	2,608
合 計	2,608	-	-	2,608

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	剰余金の配当の 総額（百万円）	1株当たり 配当額（円）	基準日	効力発生日
平成28年6月23日 定時株主総会	普通株式	13,261	5,084	平成28年 3月31日	平成28年 6月24日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成29年6月26日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

剰余金の配当の総額	11,532百万円
配当の原資	利益剰余金

1株当たり配当額	4,421円
基準日	平成29年3月31日
効力発生日	平成29年6月27日

（金融商品関係）

1. 金融商品の状況に関する事項

（1）金融商品に対する取組方針

当社は、投資運用業及び投資助言・代理業などの資産運用に関する事業を行っております。資金運用については安全性の高い金融商品に限定しております。

（2）金融商品の内容及びそのリスク

証券投資信託に係る運用報酬の未決済額である未収委託者報酬は、運用するファンドの財産が信託されており、「投資信託及び投資法人に関する法律」、その他関係法令等により一定の制限が設けられているためリスクは極めて軽微であります。有価証券及び投資有価証券は、証券投資信託、株式であります。証券投資信託は余資運用及び事業推進目的で保有しており、価格変動リスク及び為替変動リスクに晒されております。株式は上場株式、非上場株式並びに子会社株式を保有しており、上場株式は価格変動リスク及び発行体の信用リスクに、非上場株式及び子会社株式は発行体の信用リスクに晒されております。

未払手数料は証券投資信託の販売に係る手数料の未払額であります。その他未払金は主に連結納税の親会社へ支払う法人税の未払額であります。未払費用は主にファンド運用に係る業務を委託したこと等により発生する費用の未払額であります。これらは、そのほとんどが1年以内の支払期日であります。

（3）金融商品に係るリスク管理体制

市場リスクの管理

（ ）為替変動リスクの管理

当社は、財務リスク管理規程に従い、個別の案件ごとに為替変動リスク管理の検討を行っております。

（ ）価格変動リスクの管理

当社は、財務リスク管理規程に従い、個別の案件ごとに価格変動リスク管理の検討を行っており、定期的に時価や発行体の財務状況等を把握しリスクマネジメント会議において報告を行っております。

信用リスクの管理

発行体の信用リスクは財務リスク管理規程に従い、定期的に財務状況等を把握しリスクマネジメント会議において報告を行っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません（（注2）参照のこと）。

前事業年度（平成28年3月31日）

（単位：百万円）

	貸借対照表 計上額	時価	差額

(1) 現金・預金	31,715	31,715	-
(2) 未収委託者報酬	9,896	9,896	-
(3) 有価証券及び投資有価証券 其他有価証券	7,987	7,987	-
資産計	49,599	49,599	-
(1) 未払手数料	4,330	4,330	-
(2) その他未払金	4,390	4,390	-
(3) 未払費用(*)	3,420	3,420	-
負債計	12,141	12,141	-

(*) 未払費用のうち金融商品で時価開示の対象となるものを表示しております。

当事業年度(平成29年3月31日)

(単位:百万円)

	貸借対照表 計上額	時価	差額
(1) 現金・預金	31,260	31,260	-
(2) 未収委託者報酬	10,453	10,453	-
(3) 有価証券及び投資有価証券 其他有価証券	5,060	5,060	-
資産計	46,774	46,774	-
(1) 未払手数料	4,453	4,453	-
(2) その他未払金	4,946	4,946	-
(3) 未払費用(*)	3,409	3,409	-
負債計	12,809	12,809	-

(*) 未払費用のうち金融商品で時価開示の対象となるものを表示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法

資 産

(1) 現金・預金、並びに(2) 未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3) 有価証券及び投資有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっております。また、証券投資信託については、基準価額によっております。また、保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項(有価証券関係)をご参照下さい。

負 債

(1) 未払手数料、(2) その他未払金、並びに(3) 未払費用

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位:百万円)

区分	前事業年度 (平成28年3月31日)	当事業年度 (平成29年3月31日)

(1) 其他有価証券 非上場株式	1,021	970
(2) 子会社株式及び関連会社株式 非上場株式	5,129	5,129
(3) 長期差入保証金	1,049	1,050

これらは、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるものであるため、時価開示の対象としておりません。

(注3) 金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

前事業年度(平成28年3月31日)

(単位:百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金・預金	31,715	-	-	-
未収委託者報酬	9,896	-	-	-
有価証券及び投資有価証券 其他有価証券のうち満期があるもの	1,115	4,570	1,712	141
合計	42,727	4,570	1,712	141

当事業年度(平成29年3月31日)

(単位:百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金・預金	31,260	-	-	-
未収委託者報酬	10,453	-	-	-
有価証券及び投資有価証券 其他有価証券のうち満期があるもの	110	2,876	1,139	110
合計	41,824	2,876	1,139	110

(有価証券関係)

1. 子会社株式及び関連会社株式

前事業年度(平成28年3月31日)

子会社株式(貸借対照表計上額 5,129百万円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

当事業年度(平成29年3月31日)

子会社株式(貸借対照表計上額 5,129百万円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

2. 其他有価証券

前事業年度（平成28年3月31日）

	貸借対照表計上額 （百万円）	取得原価 （百万円）	差額 （百万円）
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
（1）株式	141	55	86
（2）その他			
証券投資信託	3,875	3,408	466
小計	4,016	3,463	553
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
その他			
証券投資信託	3,970	4,119	148
小計	3,970	4,119	148
合計	7,987	7,583	404

（注）非上場株式（貸借対照表計上額 1,021百万円）については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

当事業年度（平成29年3月31日）

	貸借対照表計上額 （百万円）	取得原価 （百万円）	差額 （百万円）
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
（1）株式	122	55	67
（2）その他			
証券投資信託	3,107	2,697	410
小計	3,230	2,752	478
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
その他			
証券投資信託	1,829	1,926	96
小計	1,829	1,926	96
合計	5,060	4,679	381

（注）非上場株式（貸借対照表計上額 970百万円）については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

3. 売却したその他有価証券

前事業年度（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

種類	売却額 （百万円）	売却益の合計額 （百万円）	売却損の合計額 （百万円）
（1）株式	3	-	0
（2）その他			
証券投資信託	19,069	115	13
合計	19,072	115	14

当事業年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

種類	売却額 (百万円)	売却益の合計額 (百万円)	売却損の合計額 (百万円)
(1) 株式	50	-	1
(2) その他 証券投資信託	4,371	224	23
合計	4,421	224	24

4. 減損処理を行った有価証券

前事業年度において、証券投資信託について4百万円の減損処理を行っております。

当事業年度において、該当事項はありません。

(退職給付関係)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、非積立型の確定給付制度（退職一時金制度であります）及び確定拠出制度を採用しております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	前事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
退職給付債務の期首残高	2,072百万円	2,209百万円
勤務費用	222	202
退職給付の支払額	120	122
その他	35	29
退職給付債務の期末残高	2,209	2,318

(2) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

	前事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
非積立型制度の退職給付債務	2,209百万円	2,318百万円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	2,209	2,318

退職給付引当金	2,209	2,318
貸借対照表に計上された負債と 資産の純額	2,209	2,318

(3) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

	前事業年度	当事業年度
	(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
勤務費用	222百万円	202百万円
その他	-	87
確定給付制度に係る退職給付費用	222	289

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度172百万円、当事業年度173百万円であります。

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳

(単位：百万円)

	前事業年度	当事業年度
	(平成28年3月31日)	(平成29年3月31日)
繰延税金資産		
退職給付引当金	676	709
賞与引当金	225	224
未払事業税	224	169
連結法人間取引(譲渡損)	121	5
出資金評価損	98	98
投資有価証券評価損	95	65
その他	173	185
繰延税金資産小計	1,615	1,458
評価性引当額	347	201
繰延税金資産合計	1,268	1,257
繰延税金負債		
連結法人間取引(譲渡益)	2,086	639
その他有価証券評価差額金	124	146
繰延税金負債合計	2,210	786
繰延税金資産の純額	941	470

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当事業年度 (平成29年3月31日)
法定実効税率 (調整)	33.06%	法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。
交際費等永久に損金に算入されない項目	0.77%	
受取配当金等永久に益金に算入されない項目	0.02%	
評価性引当額の増減額	1.29%	
税率変更による期末繰延税金資産の減額修正	0.19%	
その他	0.43%	
税効果会計適用後の法人税等の負担率	31.89%	

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

当社は、資産運用に関する事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

[関連情報]

1. サービスごとの情報

単一のサービス区分の営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

内国籍証券投資信託又は本邦顧客からの営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

前事業年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

該当事項はありません。

(関連当事者情報)

1. 関連当事者との取引

(ア) 財務諸表提出会社の子会社

前事業年度（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合 (%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
子会社	Daiwa Asset Management (Singapore) Ltd.	Singapore	133	金融商品取引業	(所有) 直接100.0	経営管理	債務保証 (注)	1,749	-	-

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) シンガポール通貨庁(MAS)に対する当社からの保証状により、当該関連当事者の債務不履行等に関するMASへの損害等に対して保証しております。なお、債務総額は当該関連当事者の総運用資産額に応じて保証状にて定められております。

当事業年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合 (%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
子会社	Daiwa Asset Management (Singapore) Ltd.	Singapore	133	金融商品取引業	(所有) 直接100.0	経営管理	債務保証 (注)	1,685	-	-

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) シンガポール通貨庁(MAS)に対する当社からの保証状により、当該関連当事者の債務不履行等に関するMASへの損害等に対して保証しております。なお、債務総額は当該関連当事者の総運用資産額に応じて保証状にて定められております。

(イ) 財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社

前事業年度（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金または出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合 (%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (百万円) (注1)	科目	期末残高 (百万円)
----	--------	-----	--------------------	-------	-------------------------------	---------------	-------	-----------------------	----	---------------

同一の親会社をもつ会社	大和証券(株)	東京都千代田区	100,000	金融商品取引業	-	証券投資信託受益証券の募集販売	証券投資信託の代行手数料(注2)	27,062	未払手数料	3,188
同一の親会社をもつ会社	(株)大和総研ビジネス・イノベーション	東京都江東区	3,000	情報サービス業	-	ソフトウェアの開発	ソフトウェアの購入(注3)	593	未払費用	252
同一の親会社をもつ会社	大和プロパティ(株)	東京都中央区	100	不動産管理業	-	本社ビルの管理	不動産の賃借料(注4)	1,028	長期差入保証金	1,027

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1)上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

(注2)証券投資信託の代行手数料については、証券投資信託の信託約款に定める受益者が負担する信託報酬のうち、当社が受け取る委託者報酬から代理事務に係る手数料として代行手数料を支払います。委託者報酬の配分は、両者協議のうえ合理的に決定しております。

(注3)ソフトウェアの購入については、市場の実勢価格を勘案して、その都度交渉の上、購入価格を決定しております。

(注4)差入保証金および賃借料については、近隣相場等を勘案し、交渉の上、決定しております。

当事業年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

種類	会社等の名称	所在地	資本金または出資金(百万円)	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)(注1)	科目	期末残高(百万円)
同一の親会社をもつ会社	大和証券(株)	東京都千代田区	100,000	金融商品取引業	-	証券投資信託受益証券の募集販売	証券投資信託の代行手数料(注2)	23,238	未払手数料	3,298
同一の親会社をもつ会社	(株)大和総研ビジネス・イノベーション	東京都江東区	3,000	情報サービス業	-	ソフトウェアの開発	ソフトウェアの購入(注3)	768	未払費用	218
同一の親会社をもつ会社	大和プロパティ(株)	東京都中央区	100	不動産管理業	-	本社ビルの管理	不動産の賃借料(注4)	1,036	長期差入保証金	1,028

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1)上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

(注2)証券投資信託の代行手数料については、証券投資信託の信託約款に定める受益者が負担する信託報酬のうち、当社が受け取る委託者報酬から代理事務に係る手数料として代行手数料を支払います。委託者報酬の配分は、両者協議のうえ合理的に決定しております。

(注3)ソフトウェアの購入については、市場の実勢価格を勘案して、その都度交渉の上、購入価格を決定しております。

(注4)差入保証金および賃借料については、近隣相場等を勘案し、交渉の上、決定しております。

2.親会社に関する注記

株式会社大和証券グループ本社（東京証券取引所、名古屋証券取引所に上場）

（1株当たり情報）

前事業年度 （自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）		当事業年度 （自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）	
1株当たり純資産額	15,826.85円	1株当たり純資産額	15,158.25円
1株当たり当期純利益	5,084.10円	1株当たり当期純利益	4,421.51円

（注1）潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

（注2）1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前事業年度 （自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）	当事業年度 （自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）
当期純利益（百万円）	13,262	11,533
普通株式の期中平均株式数（株）	2,608,525	2,608,525

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

中間財務諸表

（1）中間貸借対照表

（単位：百万円）

当中間会計期間 （平成29年9月30日）	
資産の部	
流動資産	
現金・預金	22,206
有価証券	98
未収委託者報酬	11,259
繰延税金資産	391
その他	278
流動資産合計	34,233
固定資産	
有形固定資産	1 231
無形固定資産	
ソフトウェア	2,066
その他	446
無形固定資産合計	2,512

投資その他の資産	
投資有価証券	6,874
関係会社株式	5,129
その他	1,262
投資その他の資産合計	13,266
固定資産合計	16,010
資産合計	50,244

(単位:百万円)

当中間会計期間
(平成29年9月30日)

負債の部

流動負債

未払金		7,070
未払費用		3,973
未払法人税等		916
賞与引当金		692
その他	2	606
流動負債合計		13,260

固定負債

退職給付引当金		2,324
役員退職慰労引当金		134
繰延税金負債		21
その他		6
固定負債合計		2,487

負債合計

15,747

純資産の部

株主資本

資本金		15,174
資本剰余金		
資本準備金		11,495
資本剰余金合計		11,495

利益剰余金

利益準備金		374
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		7,116

利益剰余金合計	7,490
株主資本合計	34,160
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	336
評価・換算差額等合計	336
純資産合計	34,496
負債・純資産合計	50,244

(2) 中間損益計算書

(単位:百万円)

	当中間会計期間	
	(自 平成29年4月1日	
	至 平成29年9月30日)	
営業収益		
委託者報酬		40,996
その他営業収益		364
営業収益合計		41,360
営業費用		
支払手数料		20,216
その他営業費用		6,325
営業費用合計		26,542
一般管理費	1	5,665
営業利益		9,152
営業外収益	2	222
営業外費用		9
経常利益		9,365
特別利益		-
特別損失		-
税引前中間純利益		9,365
法人税、住民税及び事業税		2,879
法人税等調整額		69
中間純利益		6,416

(3) 中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計	
				繰越利益 剰余金		
当期首残高	15,174	11,495	374	12,231	12,606	39,276
当中間期変動額						
剰余金の配当	-	-	-	11,532	11,532	11,532
中間純利益	-	-	-	6,416	6,416	6,416
株主資本以外の 項目の当中間期 変動額（純額）	-	-	-	-	-	-
当中間期変動額合計	-	-	-	5,115	5,115	5,115
当中間期末残高	15,174	11,495	374	7,116	7,490	34,160

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価 証券評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	264	264	39,540
当中間期変動額			
剰余金の配当	-	-	11,532
中間純利益	-	-	6,416
株主資本以外の 項目の当中間期 変動額（純額）	72	72	72
当中間期変動額合計	72	72	5,043
当中間期末残高	336	336	34,496

注記事項

(重要な会計方針)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社

移動平均法による原価法により計上しております。

(2) 其他有価証券

時価のあるもの

中間決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	10～18年
器具備品	4～20年

(2) 無形固定資産

定額法によっております。

ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年間）に基づく定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

役員及び従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額の当中間会計期間負担額を計上しております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当社の退職金規程に基づく当中間会計期間末要支給額を計上しております。これは、当社の退職金は、将来の昇給等による給付額の変動がなく、貢献度、能力及び実績等に応じて事業年度ごとに各人別の勤務費用が確定するためであります。また、執行役員・参与についても、当社の退職金規程に基づく当中間会計期間末要支給額を計上しております。

(3) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、当社の役員退職慰労金規程に基づく当中間会計期間末要支給額を計上しております。

4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

(2) 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

(中間貸借対照表関係)

1 減価償却累計額

	当中間会計期間 (平成29年9月30日現在)
有形固定資産	307百万円

2 消費税等の取扱い

仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、金額的重要性が乏しいため、流動負債の「その他」に含めて表示しております。

3 保証債務

当中間会計期間（平成29年9月30日現在）

子会社であるDaiwa Asset Management(Singapore)Ltd.の債務1,744百万円に対して保証を行っております。

(中間損益計算書関係)

1 減価償却実施額

	当中間会計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
有形固定資産	16百万円
無形固定資産	471百万円

2 営業外収益の主要項目

	当中間会計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
受取配当金	49百万円
投資有価証券売却益	134百万円

(中間株主資本等変動計算書関係)

当中間会計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

(単位：千株)

	当事業年度期首 株式数	当中間会計期間 増加株式数	当中間会計期間 減少株式数	当中間会計期間末 株式数
発行済株式				

普通株式	2,608	-	-	2,608
合計	2,608	-	-	2,608

2. 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成29年6月26日 定時株主総会	普通株式	11,532	4,421	平成29年 3月31日	平成29年 6月27日

(金融商品関係)

当中間会計期間(平成29年9月30日)

金融商品の時価等に関する事項

中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません(注2)参照のこと)。

(単位:百万円)

	中間貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金・預金	22,206	22,206	-
(2) 未収委託者報酬	11,259	11,259	-
(3) 有価証券及び投資有価証券 その他有価証券	6,002	6,002	-
資産合計	39,467	39,467	-
(1) 未払金(*)	7,002	7,002	-
(2) 未払費用(*)	3,424	3,424	-
負債合計	10,427	10,427	-

(*) 金融商品で時価開示の対象となるものを表示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法

資 産

(1) 現金・預金及び(2) 未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3) 有価証券及び投資有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっております。また、証券投資信託については、基準価額によっております。また、保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項(有価証券関係)をご参照下さい。

負債

(1) 未払金及び(2) 未払費用

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：百万円)

区分	当中間会計期間
非上場株式	970
子会社株式	5,129
差入保証金	1,044

これらは、市場価格がなく、かつ将来キャッシュフローを見積ることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるものであるため、時価開示の対象としておりません。

(有価証券関係)

当中間会計期間（平成29年9月30日）

1. 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式（中間貸借対照表計上額 5,129百万円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

2. その他有価証券

	中間貸借対照表 計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
(1) 株式	124	55	69
(2) その他			
証券投資信託	4,458	3,979	479
小計	4,582	4,034	548
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
その他			
証券投資信託	1,419	1,482	63
小計	1,419	1,482	63
合計	6,002	5,517	485

(注) 非上場株式（中間貸借対照表計上額 970百万円）については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

当中間会計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

当社は、資産運用に関する事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

[関連情報]

当中間会計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. サービスごとの情報

単一のサービス区分の営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

内国籍投資信託又は本邦顧客からの営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

営業収益のうち、中間損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

当中間会計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

当中間会計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

当中間会計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

当中間会計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
--

1株当たり純資産額	13,224.69円
1株当たり中間純利益金額	2,459.79円

(注1) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注2) 1株当たり中間純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

当中間会計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	
中間純利益(百万円)	6,416
普通株式に係る中間純利益(百万円)	6,416
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-
普通株式の期中平均株式数(株)	2,608,525

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4 【利害関係人との取引制限】

原有価証券届出書の「第三部 委託会社等の情報 第1 委託会社等の概況 4 利害関係人との取引制限および5 その他」を次の内容に訂正・更新します。

<訂正後>

委託会社は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

自己又はその取締役若しくは執行役との間における取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。

運用財産相互間において取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。

通常の実取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等（委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下において同じ。）又は子法人等（委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。）と有価証券の売買その他の取引又は店頭デリバティブ取引を行なうこと。

委託会社の親法人等又は子法人等の利益を図るため、その行なう投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額若しくは市場の状況に照らして不必要な取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと。

上記に掲げるもののほか、委託会社の親法人等又は子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

5 【その他】

a. 定款の変更、事業譲渡または事業譲受、出資の状況その他の重要事項

提出日前1年以内において、定款の変更、事業譲渡または事業譲受、出資の状況その他の重要事項に該当する事実はありません。

b. 訴訟事件その他委託会社に重要な影響を及ぼすことが予想される事実

訴訟事件その他委託会社に重要な影響を及ぼすことが予想される事実はありません。

第3 【その他】

<更新後>

(1) 目論見書の表紙から本文の前までの記載等について

<略>

UD FONT マークおよび説明文を記載することがあります。

<略>

独立監査人の中間監査報告書

平成30年4月13日

大和証券投資信託委託株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 貞廣 篤典 印
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 小林 英之 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型） - ロボテック（年1回） - （為替ヘッジあり）の平成29年9月14日から平成30年3月13日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型） - ロボテック（年1回） - （為替ヘッジあり）の平成30年3月13日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成29年9月14日から平成30年3月13日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

大和証券投資信託委託株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注) 2 . XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。

[委託会社の監査報告書（当期）へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成29年 5月26日

大和証券投資信託委託株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	高波 博之	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	貞廣 篤典	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	内田 和男	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている大和証券投資信託委託株式会社の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの第58期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、大和証券投資信託委託株式会社の平成29年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注) 2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

[委託会社の監査報告書（当期中間）へ](#)

独立監査人の中間監査報告書

平成29年11月22日

大和証券投資信託委託株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	高波 博之	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	貞廣 篤典	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	内田 和男	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている大和証券投資信託委託株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの第59期事業年度の中間会計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、大和証券投資信託委託株式会社の平成29年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了す

る中間会計期間(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注)1. 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注)2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。